

あさひ “いきいき” プラン

一人ひとりが築き上げる未来に向けてのまちづくり。



自然素材で個性的な街を。

産業振興と行財政運営の「確かな歩み」で、まちづくりの基礎をしっかりと支え、「安心できる」環境や生活基盤整備に加えて、教育・文化や保健・福祉などの「希望あふれる」「健やか」で多彩な「住みよさ」の魅力づくりを一步一步進めます。魅力づくりは「共にわかちあう歩み」を進める町民と行政の協働作業で取り組まれ、その成果を積極的に町内外に発信することで、10年後の朝日町が、町民はもとより町外にも聞こえた「住みよさの魅力輝く歩みのまち」となることをめざします。



健康を配慮した街づくり。



緑豊かな環境。

地区の活性化

- 歴史・文化の掘起し
- 地区ごとのまちづくり組織構築
- 地区予算制の導入
- バリアフリーの徹底（人にやさしいまちづくり）
- 地区のアイデンティティづくり
- 職員のまちづくり参加

人材の活性化

- 地域の教育力向上
- 「あさひ学びプラン」の推進
- 大学との連携強化
- 生涯学習による文化のまちづくり
- まちづくり塾の開設
- 就職支援活動の展開
- 女性の輝く町「あさひ」の実現

元気なまちづくり
元気な人づくり (1万人構想)

経済の活性化

- 経営支援隊の創設
- 協力工場データベースの構築
- 人材データベースの構築
- コミュニティビジネスの構築
- 町の特産品創造
- 交通アクセスを生かした企業の誘致
- 経済特区への対応

役場の活性化

- 町民本位の機構改革
- 成果主義の導入
- 人材育成の仕組みづくり
- 経営品質の導入
- 政策研究、業務改善発表会の開催



今と昔

ASAHI TOWN 50th ANNIVERSARY



昔

昭和58年

朝日町

JR関西本線を境として、東側の平坦地は水田地帯・工業地帯となっていて、西側の丘陵地には標高80メートル以下の山林や畑が広がっています。
近年では、国道1号線沿いに多くの商業施設が立地し、町内に高速道路のインターチェンジが出来るなど、さらなる発展が見込まれます。

今

平成16年



昔

昭和30年代

朝日小学校

明治36年(1903)に落成した朝日小学校の旧校舎は、昭和37年(1962)に新校舎が完成するまで使用されました。新校舎はH型のモダンなデザインで、今でもその斬新さは失われていません。ここから多くの子どもたちが巣立っていきま



今

平成16年



昔

昭和30年頃

朝日町役場

朝日村役場は大正5年(1916)に完成。その後、昭和29年(1954)の朝日町誕生を経て、東京オリンピックが開催された昭和39年(1964)に役場新庁舎が完成しました。また、平成元年(1989)には増築が行われました。



今

平成16年



昔

昭和58年

国道1号線

昭和7年(1932)の開通以来、旧東海道にかわって町内重要路線となった国道1号線は、人と人をつ結び、産業の活性化に大きな役割を果たしました。また、道路沿いには大型ショッピングセンターや飲食店が建ち並び、町の新たな賑わい空間となってきました。



今

平成16年





昔

大正12年頃

旧東海道

江戸時代、桑名宿と四日市宿を結んだ旧東海道筋には茶店、立場茶屋、旅籠があり、旅人でにぎわっていました。また、縄生村の二里塚は榎の木が茂って道中最も見事だったといわれます。現在、かつての賑わいは失せましたが、町の中心部を通る旧東海道は現在も地域の暮らしを支えています。



今

平成16年



昔

昭和50年頃

近鉄伊勢朝日駅

昭和4年(1929)、伊勢電鉄桑名四日市間開通に伴って開業した伊勢朝日駅。それ以来、伊勢朝日駅は町の交通拠点として地域の発展を支えてきました。昭和42年(1967)に準急停車駅となり平成5年(1993)には駅前広場も完成しました。

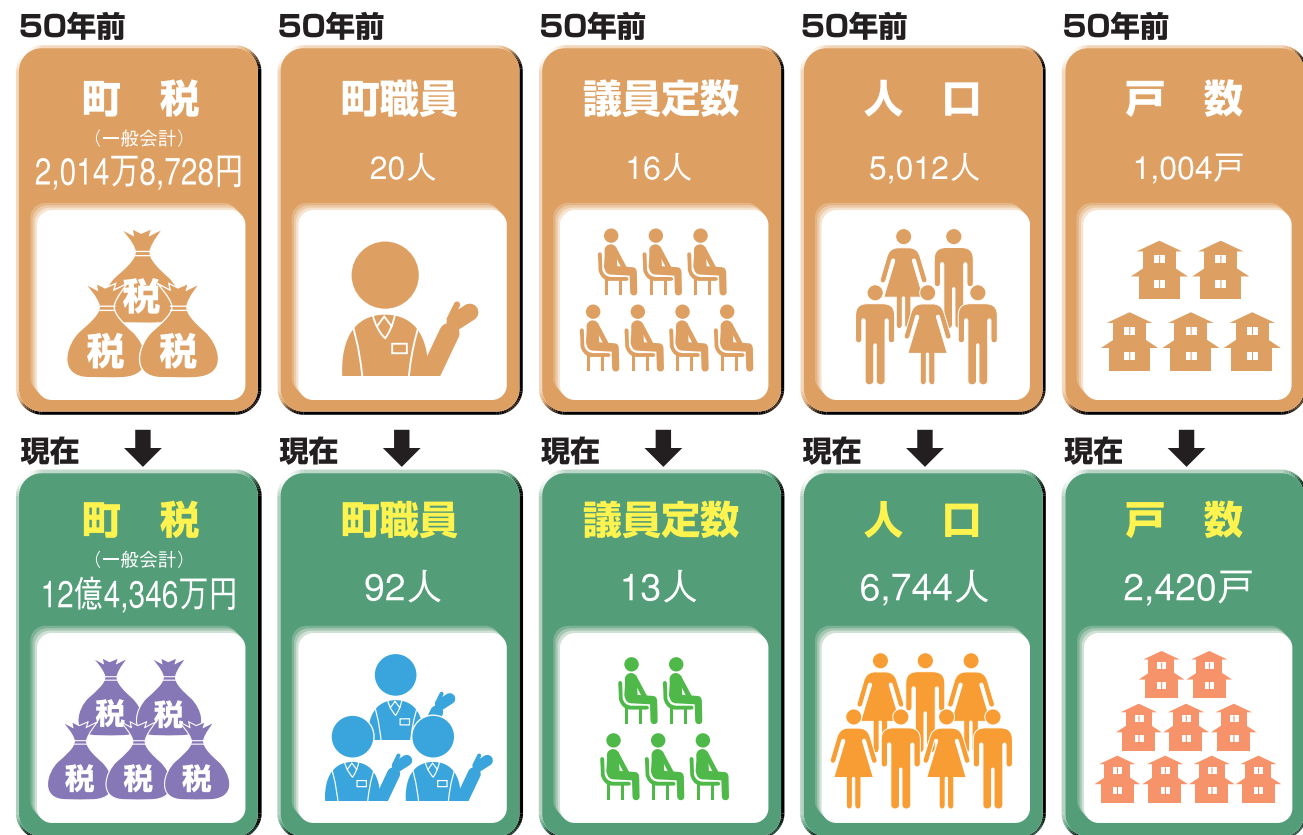
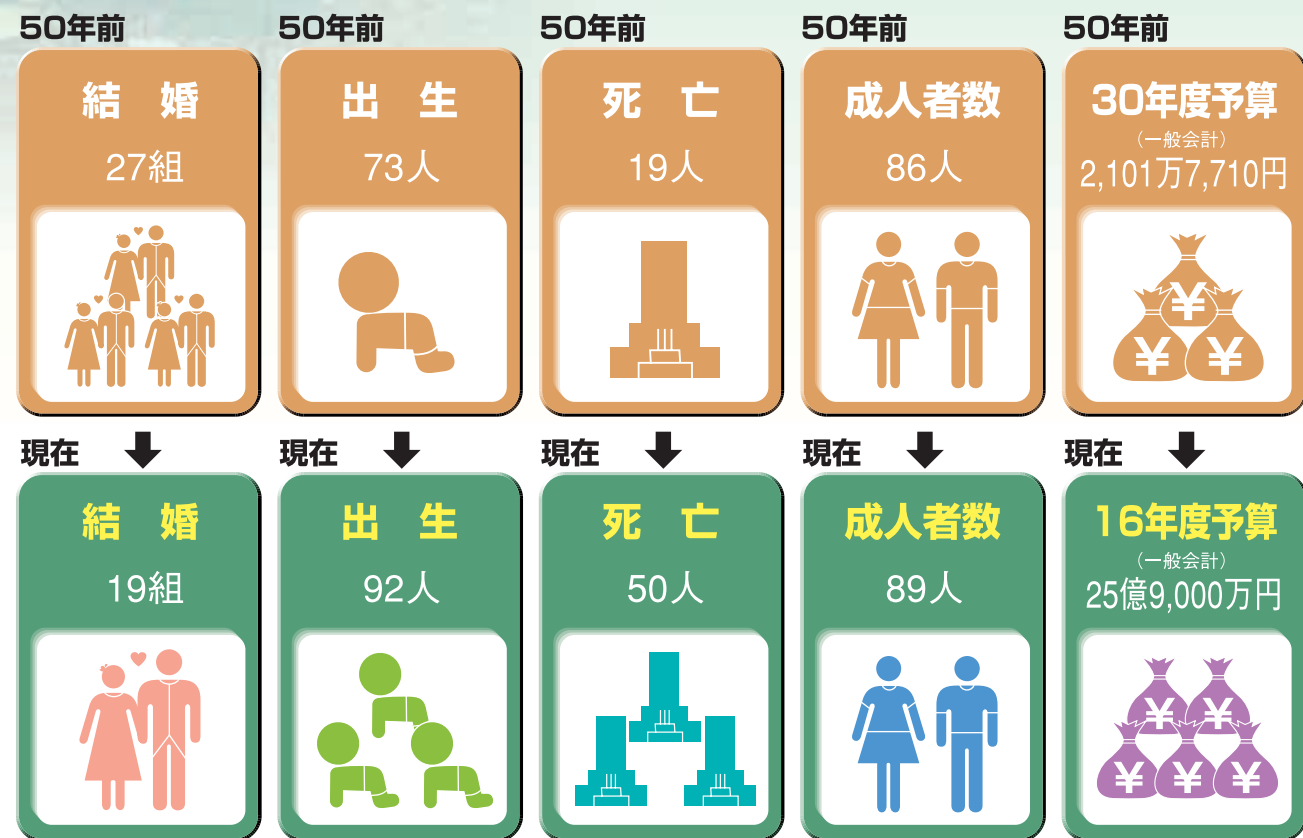


今

平成16年

統計で見る朝日町

朝日町の今と昔



町の変遷

ASAHI TOWN 50th ANNIVERSARY